



市長 山下政良

愛知県

たはらし 田原市

みんなが幸福を実現できるまち
～うるおいと活力のあるガーデンシティ～



【データ】

- ・人口: 63,853人
- ・世帯数: 22,068世帯
- ・面積: 191.12km²
- ・市の花: 菜の花
- ・市の木: くすのき
- ・特産物: 花き、野菜、あさり
- ・主な健康イベント
歯の健康フェスティバル(6月)
健康まつり(10月)

※平成28年4月1日現在

【田原市の紹介】

北は風光明媚な三河湾、南は勇壮な太平洋に囲まれた愛知県の最南端「渥美半島」に位置する田原市は、美しい自然に恵まれた活気あふれる田園共生都市です。また、渡辺崋山ゆかりの地でもあり、文化・歴史のまちでもあります。

★観光★ 白い砂浜と見渡す限りの海が広がる「伊良湖岬」を有する観光地で、白亜の灯台、恋路ヶ浜などの美しい景観、1,300万本の菜の花が咲き乱れる「渥美半島菜の花まつり」、江戸時代から伝承されているけんか凧と祝凧が大空高く舞う「田原凧まつり」など、魅力的なイベントが多く開催されます。

★農業★ 豊富な水資源と温暖な気候により、日本一の花き産出額、全国トップクラスの農業産出額を誇ります。冬から春にかけて一面に広がるキャベツ畑はまさに圧巻です。また、ブロッコリーやトマト、完熟のマスクメロンやイチゴも魅力のひとつです。

★工業★ 自動車関連産業を中心とする製造業が集積し、全国有数の製造品出荷額を誇り、日本のものづくり産業を支える主要な拠点のひとつとなっています。



たはらエコ・ガーデンシティ構想

田原市では、“環境と共生する豊かで持続する地域づくり”を目指して、太陽光発電や風力発電の導入、資源循環型の社会の形成を目指す菜の花エコプロジェクトの推進、PFI手法による一般廃棄物から炭化物を製造するリサイクルセンターなどの取り組みを行っています。また、メガソーラーや新規風力発電所建設など、国内最大級の再生エネルギーの生産拠点として期待されています。

その他、環境負荷の少ない省エネ型のまちづくりに取り組むコンパクトシティの推進、家庭や事業者、公共施設への省エネ設備の導入を図る省エネルギーの推進などに取り組む、次の世代に誇りの持てる活力ある田原市を目指しています。



【ウォーキングの推進】

■ノルディックウォーキングの推進

ノルディックウォーキングは、誰でも簡単にでき、高い運動効果もあり、子どもから高齢者まで幅広い世代で楽しむことができます。田原市では、神戸常盤大学看護学科、柳本有二教授をお招きしノルディックウォーキング体験会を開催したり、田原市スポーツ推進委員による出前講座を実施しています。

また、ポールの無料貸し出しも行っており、広く市民の方にノルディックウォーキングを体験していただく機会を作って推進しています。



■ウォーキングコースの整備

昨年度、田原市内の森林にウッドチップを使用した足にやさしい遊歩道が整備されました。ウッドチップは適度な弾力があり、快適に森林ウォーキングが楽しめます。

また、今後は、市街地のレクリエーション活動の場として散策路整備を計画しています。

■ウォーキングコースのPR

田原市内には美しい景観を活かしたウォーキングコース、トレッキングコースが多くあります。そのウォーキングコースを一元化し、多くの方に周知、活用していただくために“田原市の自然満喫！ウォーキングマップ”を作成し、公共施設や観光施設等で配布しています。



キラリ！市民団体の皆さん

《健康づくりリーダー》

“健康づくりリーダー”は、愛知県が行っている健康づくりに関する研修会を修了した方で、「愛知県健康づくりリーダー」として登録され、愛知県や市町村が行う健康づくり行事やイベントにおいて、健康づくりのボランティアとして活動されている方々です。現在田原市では、25名の方が登録されています。

市民の健康づくり支援者として、健康まつりに参加して体力チェックや田原弁ラジオ体操の実演、ウォーキング大会など様々なイベントに参加しています。

また、介護予防リーダーとして、介護予防教室などで介護予防の知識を活かして、高齢者の健康づくりを支援しています。その他、地域のウォーキンググループの支援や運動の教室など、地域に根ざした健康づくりの推進を積極的に取り組んでいます。



ヘルシーナちゃん

田原市役所 健康福祉部 健康課

〒441-3492

愛知県田原市田原町南番場30番地1

電話／0531-23-3515

FAX／0531-23-3810